



災害時の施設利用に  
関する連携協定締結

深川地区消防組合と拓殖大学は、石狩川に隣接する消防総合庁舎が大雨などで浸水する恐れがある場合に消防車両などを同大学北海道研修所に退避させることとする協定を10月30日に締結しました。



法務大臣表彰受賞報告

深川地区保護司会深川支部の役員を努め、長年にわたり罪を犯した人々の改善更生や犯罪予防の啓発に尽力した佐藤克之さんと東出周子さんが法務大臣表彰を受賞し、11月9日に市役所を訪れ、山下市長に報告しました。

ライスパワー体操体験会

【10月29日・健康福祉センター「デ・アイ」】



体操で広げる  
介護予防の輪

10月29日、北空知1市4町で連携して行う介護予防の取り組みとして市立病院の作業療法士が考案したライスパワー体操を普及するため、体験会を健康福祉センター「デ・アイ」で開催しました。この体操は転倒の予防や認知機能の維持などに重点を置き、肩や腰など全身のストレッチや手や指を動かして脳を活性化させるトレーニングで構成しており、運動不足の解消にも役立ちます。今後も、地域で開催されているサロンなどの集まりで住民同士の交流のきっかけとなるよう、普及に取り組んでいきます。

男女共同参画市民フォーラム

【10月31日・ラ・カンパーニュホテル深川】

男女共同参画市民フォーラムを10月31日にラ・カンパーニュホテル深川で開催し、指導した野球部を通算12回甲子園に導いたクラーク記念国際高等学校硬式野球部監督の佐々木啓司さんが講演を行いました。グラウンドだけではなく、寮でも生徒と共に過ごす佐々木さんは野球を通じた人材育成について「ルールを守ることや自己管理など基本的なことは、親や周りの大人が伝えるもの。甲子園出場だけではなくどんな社会人になるかも重要」と話し、市民らは熱心に耳を傾けていました。

甲子園球児を育てる  
名将の教育論



赤ちゃんふれあい教室

11月12日、赤ちゃんふれあい教室を一已中学校で開催しました。体に重りを装着して妊娠中の大変さを感じる体験や助産師による講話を通して、生徒たちは命の大切さを学びました。



英語deトライ

市教育委員会と北海道教育委員会が連携し児童の英語力の向上に取り組む「英語deトライ」を11月11日に深川小学校で実施しました。参加した児童はあいさつや道案内などの簡単な英会話に挑戦しました。